

令和4年度江南市一般会計予算に対する、三輪陽子議員の反対討論

新年度予算では、一部評価できる点もあります。

例えば放課後児童健全育成事業の対象学年をすべての小学校で5・6年生まで通年利用を拡大し、放課後子ども教室も6月からの古北小学校の開設で全小学校に広がる予算が付いたこと、今15歳まで無料の通院、入院の医療費が10月から18歳まで拡大されること、私立高校生への経済的格差是正のための助成金の復活など、子育て世帯の要望に答えた予算が計上されたこと。

またごみ出し困難世帯へのふれあい収集の実施、今年度打ち切られた市心身障害者扶助料の市重度障害者手当として月2000円の復活なども評価したいと思います。

ただし、放課後児童健全育成事業では待機児童が出ているようでその解消をはかっていただきたいこと、ふれあい収集については条件が厳しすぎるので、必要とされている方が皆さん利用できるように、条件を緩和し、対象者を広げる事、障害者手当についてはせめて元通りの月3000円に戻すなどさらに市民ニーズに応えるよう要望もあります。

一方この予算には評価できない点も多くあります。

①まず、布袋駅東複合公共施設の整備と布袋駅周辺整備の巨額の財政投入が行われている点です。多額の税金を投入して作る布袋駅東複合公共施設は市民に親しまれる施設にするために、市民参加で建設をすすめるべきであったのに、全く正反対の進み方です。ネーミングライツはやめてせめて名前は市民からの公募とすべきです。PFI方式で縮減効果があるとのことでしたが、資材等の値上がりに対して、体育館のときのように設計を見直して価格を抑えるなどの手立てをとることもできず、もともと高かった建築費が契約からわずか1年で1億円以上も値上がりし、来年度だけでも32億円以上の予算計上となっています。

さらにやっと終わりを迎えた鉄道高架化事業でも駅前広場や駅西通り線整備などで4億円以上の予算となっています。駅前広場の整備や駅構内のエレベーター維持管理費用などは名鉄に負担を求めべきです。

その上布袋地区の都市公園作りとして久昌寺公園用地の取得に4445万円、仮称1号公園の設計に889万6千円など布袋地区への税金投入が偏りすぎています。

②次に学校給食センターについてのべます。

新学校給食センター建設、運営について、PFI方式の方向で進み、SPC業者募集のための募集要項等作成のためのアドバイザー業務委託料が計上されています。経費縮減と平準化のためのPFI方式ということですが、布袋駅東複合公共施設の建設、運営などの様子からも本当にそうなるかは疑問です。近隣市の学校給食センター整備ではPFI方式でも、施設の完成後、引き渡しから1か月以内に整備費総額の3/4の支払いを一括で求められた例もあります。長期間、決まった企業にお任せのPFI方式ですすめていくことには賛成できません。

また来年度北部学校給食センターの調理業務は完全に民間委託となる予算が計上されています。正規調理員の直接雇用を中止したところから問題ですが、これも栄養教諭などとの連携がうまくいって安全安心の給食が提供できるのか心配されます。

③ 市民生活に大きく影響することとして、公共施設の使用料や手数料の値上げもあります。やっとコロナが少し落ち着いたところで、サークル活動を活発化させたいところでの使用料の値上は避けるべきではないでしょうか。

④ また保育士、学童保育指導員などの処遇改善の予算がついていない点も問題です。国が処遇改善の方針を出し、市内の指定管理園や民間の認定こども園には処遇改善の予算をつけているのに、直営の保育園で処遇改善をしないのでは働く人の意欲が低下するのも当たり前です。特に低賃金の会計年度任用職員の方の処遇改善は、県内でも瀬戸市、豊橋市、尾張旭市、豊川市、西尾市、田原市などが踏み切っています。江南市もぜひ行うべきです。

⑤ 布袋駅東公共施設の隣の民間棟に入る認可保育所への補助もありますが、園庭のない、2階にある施設でよい保育ができるとは思えません。保育体制など県まかせにするのではなく、市の監視体制をしっかりとっていくことが必要であると思います。

⑥ また大きな問題点として自治体 DX の取り組みがあります。地方公共団体情報システム標準化作業支援委託料、機器設定委託料や個人番号カード関連事業費などが予算化されています。

国の DX 推進の流れに沿って、マイナンバーカードの取得促進、情報システムの標準化・共通化、行政手続きのオンライン化などがすすめられる結果、国の作る鋳型にはめられ、自治体の独自性が発揮できなくなるおそれがあります。またマイナポータルに蓄積される市民の個人情報、民間企業の利活用のために提供できるようになる怖れがあり、さらに進めば重大な人権侵害を引き起こす恐れもあります。便利さや統一性を重視するだけでなく、これらの点について慎重に考えるべきと考えます。

予算全体を見ても、財政調整基金の大幅回復、コロナ臨時交付金の潤沢な交付など、財政に余裕が出ています。こういう時こそ市民の要求に応じて例えば資源ごみの排出の利便性をはかる、巡回バスなど公共交通の充実、学童保育の減免、学校給食費の助成などの実現の予算を付けるべきです。

令和4年度一般会計予算が市民要求にこたえていないことを申し述べて議案第22号の反対討論といたします。